

日本医師会生涯教育講座 (3.5単位 cc:4, 6, 10, 15, 80, 81, 84)  
(公財)日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度(2単位)  
日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師制度 (5単位)

## がん疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会 ～症例から適正使用を学ぶ～

### 開催のご案内

主催 厚生労働省  
公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター  
後援 公益社団法人 日本医師会  
一般社団法人 日本病院会  
公益社団法人 全日本病院協会  
公益社団法人 日本薬剤師会  
一般社団法人 日本病院薬剤師会  
公益社団法人 日本看護協会  
公益社団法人 東京都医師会  
東京都  
協賛 麻薬生産者協会

厚生労働省及び(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターでは、関係団体のご支援、ご協力のもと、医療関係者の方々にWHO方式がん疼痛治療法の全国への均てん化と更なる向上を目指して、医療用麻薬の適正な使用を推進することを目的に、専門家の先生方を講師にお迎えして、下記のとおり講習会を開催することといたしました。

多数の皆様のご参加をいただけますようご案内申し上げます。

### 記

- 1 日時 2022年10月1日(土) 午後1時～午後5時30分
- 2 会場 ニッショーホール(旧ヤクルトホール)  
東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル
- 3 内容
  - (1) 講演 「痛みの評価と患者の病態に合わせた医療用麻薬の選択」  
青森県立中央病院 副院長 的場 元弘 先生
  - (2) 講演 「服薬指導・処方提案に役立つ麻薬製剤の特徴と適正使用」  
長崎大学病院 薬剤部 麻薬管理室長・緩和ケアチーム  
龍 恵美 先生
  - (3) 講演 「痛みを緩和する看護ケア」  
辻仲病院 柏の葉 看護部長 柏谷 優子 先生
  - (4) 講演 「在宅ケアにおける癌疼痛緩和の実際とチーム連携のあり方」  
ふじ内科クリニック 院長 内藤 いづみ 先生
  - (5) 講演 「医療用麻薬の適正管理について」  
東京都福祉保健局健康安全部薬務課  
薬務担当 小菅 孝恵 先生
  - (6) 質疑応答パネルディスカッション  
講演者及び厚生労働省麻薬行政担当官
- 4 対象者 医療関係者(800人) ※会場定員(300人)、オンライン定員(500人)
- 5 参加費 無料
- 6 主催 厚生労働省 (公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター

7 後援 (公社) 東京都医師会 (公社) 東京都薬剤師会 東京都  
8 協賛 麻薬生産者協会

(救急薬品工業、協和キリン、塩野義製薬、第一三共プロファーマ、住友ファーマ、武田薬品工業、帝國製薬、テルモ、東和薬品、日本臓器製薬、久光製薬、藤本製薬、丸石製薬、ヤンセンファーマ、祐徳薬品工業)

9 参加申し込み  
麻薬・覚せい剤乱用防止センターホームページよりお申し込みください。  
9月29日(木)まで受け付けます。

10 会場参加における留意事項

- 1) 新型コロナ対策として、検温、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、換気等の対策を講じることとしております。
- 2) 開催2日前にQRコードを記載した会場受付用メールをお送りしますので、プリントアウト又は画面表示により当日の受付を行います。なお、下記3)に該当する方を除きます。
- 3) 日本薬剤師研修センターの研修受講単位の交付を希望される方は、薬剤師研修・認定電子システム(PECS)に登録後、各自の「薬剤師メニュー」の「QRコード」を印刷して会場に持参し、受付時と終了時の2回読み取りを行ってください。
- 4) 日本緩和医療薬学会の単位は、当日の受講履歴及び学会・会員番号等を確認の後、学会LMS事務局よりシステムに登録されます。

11 オンライン講習会の留意事項

- 1) WEB会議ツールとして「Zoom」を使用します。
- 2) 開催2日前に講習会参加用URLを記載したオンライン受付用メールをお送りします。
- 3) 日本薬剤師研修センター研修受講単位の交付は、交付希望者ごとに当日の受講履歴を**視聴ログで照合**し、その後、受講確認用キーワードの確認を行った後「単位交付対象者リスト」に搭載し、当該リストを薬剤師研修センターに報告します。  
なお、薬剤師研修センターへの報告日は希望者の方々にメールで連絡します。
- 4) 日本緩和医療薬学会の単位は、当日の受講履歴を**視聴ログ等で照合**した後、学会・会員番号等を確認の後、学会LMS事務局よりシステムに登録されます。

12 お問い合わせ先

公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター  
電話 03-5544-8436